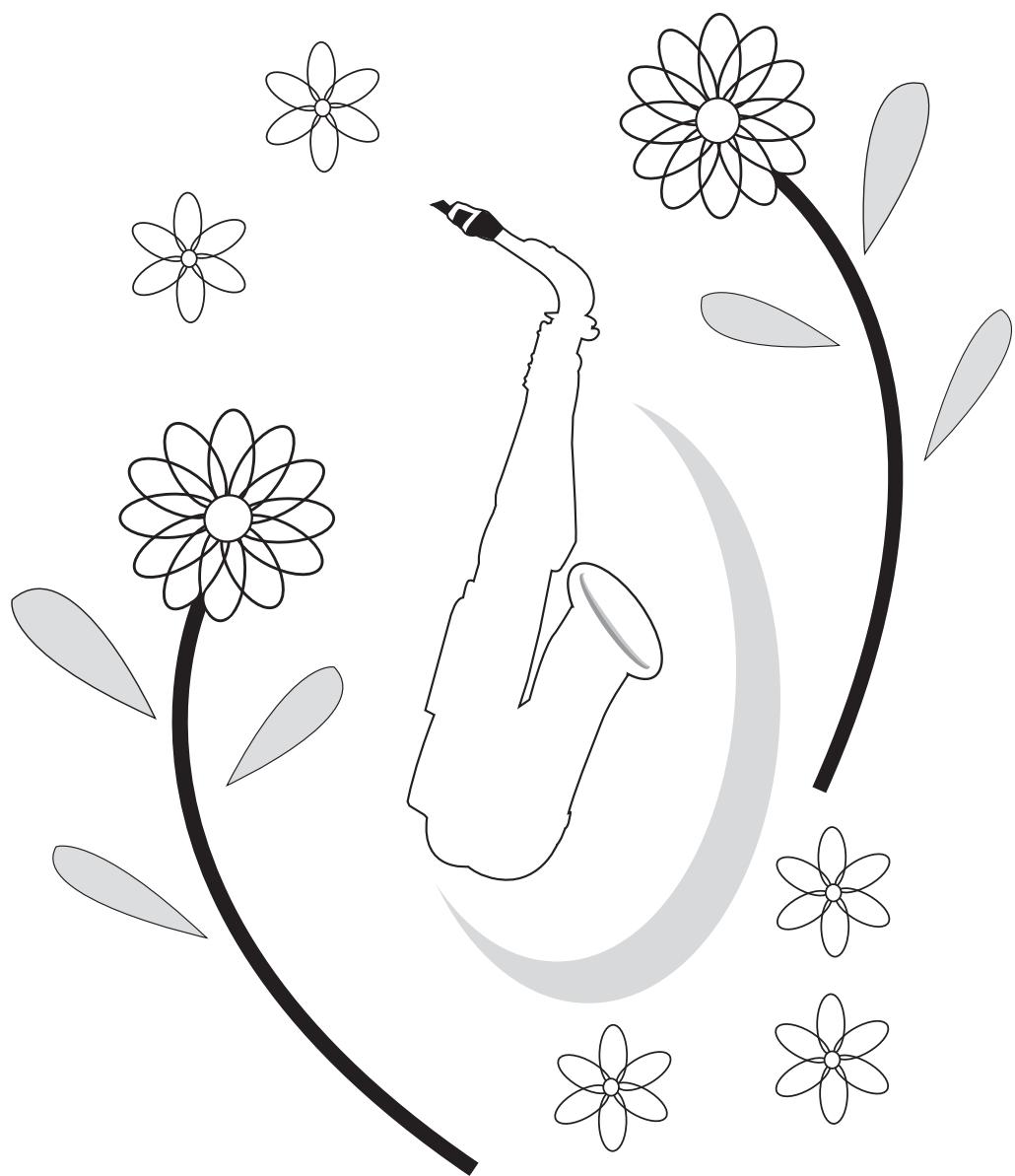


栃木県吹奏楽連盟<季刊>広報誌2007年12月号

吹奏太郎



目次

★ 理事長 卷頭言	1
「県吹奏楽連盟の支部・地区大会を開催するに当たって」	
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男	
★ 支部再編に思う	2
栃木県吹奏楽連盟副理事長 県北地区長 君島 茂	
栃木県吹奏楽連盟副理事長 県央地区長 三橋 英之	
栃木県吹奏楽連盟副理事長 県南地区長 森下 尚	
★ 平成19・20年度 栃木県吹奏楽連盟役員	3
★ 平成19年度指導者実技研修会・指揮法講習会 報告	4
栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部部長 岩原 篤男	
★ コンサート情報 訂正とお知らせ	8
★ 編集後記	9



県吹奏楽連盟の支部・地区大会を開催するに当たって

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

県吹奏楽連盟では19年度に組織を改編し、地区の活性化を図るため県内3地区を構成した。その地区の下部組織として6支部を置き、より活動の場を広げ、交流を図って音楽の向上に努めていくことを狙いとしています。

ソロコンテストについて（支部大会）

現在、県大会の予選として支部大会を行っています。多くの児童・生徒が参加されて、個人の音楽の向上に大きな役割をなしています。隣の学校が参加しているので、私たちも参加しようとする気持ちが湧き、手の届かない大会でないことを実感しているかと思います。しかし、まだ参加者数に隔たりがあり、一定の学校の児童・生徒の参加に偏っている傾向があります。連盟加盟校の全校から参加されることを願っています。今後も今まで通りの支部大会として進めて行きたいと思います。

アンサンブルコンテストについて（地区大会）

来年度（20年度）から県大会の予選として地区大会を開催します。

今まで多くのアンサンブルグループが県大会に出場され、中学校・高校に於いては県大会で予選を開催していましたが、出場枠が飽和状態になっていることや出場数の制限があるがため、参加を希望している児童・生徒の意思を反映できない面がありました。それらを解消しようと地区大会を開催することになったのです。

1. 各学校でアンサンブルグループを一つでも多く結成し、大会に参加をする。
2. 地区内での活動の活性化を高める。
3. 県大会の出場権を得るための音楽の質の向上に努める。
4. 地区内で実行委員を立ち上げ、地域の結束力を持って運営をする。

これらを踏まえて吹奏楽の発展を願うものであり、音楽の向上に努めて頂きたいと思います。しかし、立ち上げるにあたっては色々と不便な面もあるかと思いますが、地区部長さんを中心として指導者の皆さんのが力をあわせ、大会が成功することを願っています。

支部再編に思う



県北地区長 君島 茂

ここ数年、栃木県吹奏楽連盟としては、その活動の活性化、対外的なコンクールの成果としては物足りなさを感じていたことも否定できないところである。その打開策として、県内の支部の枠組みを新しいものにする、という栃吹連の長年の課題が今年ついに解消し、県北、県央、県南の三地区の編成で、それぞれの地区ごとの活動が開始した。

わが県北地区は、今までの上都賀支部と塩那支部の統合であり、その面積は栃木県の半分以上をしめる。県央地区のように、そう広くない地域にたくさんの団体が集中している場合と違って、地区的端から端までバスで移動しようものなら、到着するだけで数時間かかる。一気に全く新しい形でそれぞれの催しを実施するには、当然慎重にならざるをえない。地区の中には、統合して地区が広くなるより、むしろ地区内を分割して団体数を少なくした方が、ある面では活動しやすいという意見も聞かれるところである。

しかし、そのような意見を加味しながらも、県北地区全体を見渡し、そして、数年先、10数年先、或いはもっと先の未来を見据えて、活動を活性化に向けて行かなくてはならないと考えている。新編成の初年度であり、いろいろと不都合なことも浮かび上がることと予想されるが、全ては未来の県北地区の活性化のための土台と捉えて、一歩ずつ前進していきたいと考えている。

本年度は、夏のスクールバンドフェスティバル等の発表会は、とりあえずほぼ昨年までと同様に開催している。これからのアンコン、ソロコンなどについては、役員会を開催し検討していく予定である。

県央地区長 三橋 英之

県央地区は元々宇河支部の単独支部であり、今年度の支部再編によって直接影響を受けることはありませんでしたが、次年度よりアンサンブルコンテストを各地区で開催すると考えた時、組織を強固なものとするなど、これまで以上に活性化が必要だと認識しています。

将来的にはコンクールなどの全ての大会が各地区で実施されても運営が出来ることを視野に入れ、諸準備を始めようと考えています。具体的には、支部に所属する各団体の顧問・代表者と連絡を密にし、加盟団体相互の親睦を深めながらも、レベルアップを第一に考え、しかも参加して意義のある楽しい活動を心がけようと思います。

幸いにも、宇河地区スクールバンドフェスティバルは多くの参加団体があり、大勢の聴衆が来場し、毎年大盛況のうちに開催されています。このイベントに負けない新たな宇河支部での行事を検討したり、研究会や親睦会などを実施したりして、栃木県全体のレベルの向上に貢献できればと思っています。

県南地区長 森下 尚

支部再編に伴い、下都賀支部では現在、これまでの経緯と栃木、小山支部における歴史を踏まえて、いかに組織を再編していくかということに取り組んでおります。事務手続き上も多くの課題がありますので、一つ一つ解決していく必要性を感じております。

- ① 昭和の時代は下都賀地区は一緒でしたが、平成の時代は加盟団体も増加し、規模も大きくなっています。
- ② 小山地区は各種の会合をもつにも世話役校長名で派遣申請がなされており、会合を勤務時間の中で解消できていましたが、栃木支部はそれがなされていなかったために多くの課題がありました。現在その課題を解消するために、下都賀地区中学校校長会、高等学校校長会への御理解を図るべく調整中です。
- ③ 今年度は、まずソロコンテストを合同で実施すべく検討しております。
- ④ ソロコンテスト以外のフェスティバル、楽器別講習会等についてはこれまでどおり栃木支部、小山支部ごとに実施する方向です。

♪ 平成19・20年度 栃木県吹奏楽連盟役員 ♪

◆ 理事長の推薦・総会の承認

会長 平間 幸男（県教育長）
副会长 斎藤 博明（朝日新聞社）
藤田 伸夫（元県吹連役員）
鈴木 基司（元県吹連役員）
顧問 丸山 雄史（元県吹連役員）
島田 芳郎（元県吹連役員）
福井 史志（元県吹連役員）
小堀志津枝（元県吹連役員）

◆ 選出委員の選出・常任理事の推薦総会の承認

理事長 石塚 武男（作新学院高校講師）
副理事長 君島 茂（黒田原中学校）
副理事長 森下 尚（乙女中学校）
副理事長 岩原 篤男（真岡高校）
副理事長 佐藤 浩（野木中学校）
副理事長 鈴木 太志（管楽器講師）
副理事長 三橋 英之（作新学院高校）

◆ 理事長の委嘱・総会の承認

各専門部長（副理事長兼務）
兼 コンクール部長 森下 尚
兼 アンコン部長 君島 茂
兼 マーチング部長 佐藤 浩
兼 研修 部長 岩原 篤男
兼 広報 部長 三橋 英之
(ホームページ係 福井史志)

◆ 理事長の委嘱・総会の承認

事務局長 星 弘伸（城山中学校）
事務局長次長 菊川 祐一（宇都宮北高校）
事務局長次長 田中 修（壬生中学校）
事務局長次長 渡辺 聖子（宇都宮清陵高校）
事務局長次長 柴田 高志（今市高校）
事務員 大滝 けい
会計 渡辺 聖子（宇都宮清陵高校）
青山佐知子（栗野中学校）
水嶋 綾子（芳賀中学校）

東関東吹奏楽連盟役員

◆ 理事長の推薦

東関東副理事長 石塚 武男
東関東 理事 岩原 篤男
東関東事務局次長 星 弘伸

常任理事

理事長・副理事長・事務局長・支部長

理事

常任理事・副支部長・事業副部長・
事務局次長・会計

地区部会長

県北地区 君島 茂
県央地区 三橋 英之
県南地区 森下 尚

監事（2名）

山田英明（小山高校）
沼尾守夫（宇都宮東高校）

平成19年度 指導者実技研修会・指揮法講習会 報告



栃木県吹奏楽連盟
副理事長（研修部部長） 岩原 篤男

- 1 日時・日程 平成19年10月27日（土）10：00～16：00
- 2 内容 テーマ～明日から誰でも振れる指揮～
吹奏楽指導者の合奏指揮における基本的な指揮の方法や応用など
実際にピアノ伴奏を前に、講師による個別指導を受講します。
基本から応用へ、明日には生徒の前にレベルアップしたご自身を見
せられます。
- 3 会場 宇都宮市東コミュニティーセンター ホール
- 4 主催 社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）
- 5 主管 社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）
関東甲信越支部
- 6 共催 栃木県吹奏楽連盟
- 7 講師 紙谷 一衛
プロフィール
15歳から齋藤秀雄氏に指揮法を学び、19歳の時に東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。桐朋学園大学・東京音楽大学で教鞭をとり多数の有能な指揮者を輩出する。指揮活動は国内の演奏会にとどまらず、ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・アメリカでも絶賛を浴びた。郵政中央吹奏楽団を現在まで40数年にわたり
指揮している。現在日本吹奏楽指導者協会東京都会長を務める。
※ ピアノ伴奏 清野 香子（東京音楽大学 非常勤）

8 参加者	小学校 6名 大学生 1名	中学校 4名 一般 3名	高校 8名 合計 22名	
	（宇都宮 3名 下都賀小山 1名）	芳賀真岡 7名 塩谷那須 3名	上都賀 3名 佐野足利 4名	下都賀栃木 1名

今年度も日本吹奏楽指導者協会（JBA）と共に指揮法講習会を計画したところ上記のような参加者があったことを報告いたします。当日は、中学校などにおいて「学校行事と重なってしまい希望したいのだけど、残念ながら学校行事優先のため参加者できない」とのこと、今回は中学関係参加者が少なくなってしまったようです。

講習会としては、時期的に早かったとの反省が挙げられます。

会場は宇都宮市東コミュニティーセンターのホールを使用しましたが、ステージの上と客席と少し離れており講習会としてはあまり良い環境ではなかったかと思います。

この日は、朝早くから台風の影響で横殴りの雨でした。天候があまり良くない状態でしたが、会場内は前年度受講された先生や初めての先生方で講演開始前より期待あふれた会話が飛び交っていました。

午前10時より12時まで「I 基本から表現法へ」・午後1時より4時までは、「II 応用・実習」を中心に指揮棒の持ち方から指揮棒の振り方そして表情のつけ方など必死に講師・紙谷先生の指導のもと休み時間も惜しむ熱心さで研修されていました。

研修の内容は、午前の部が「I 基本から表現法」として紙谷先生の持参資料【「役に立つ」条件を満たす指揮法】より①表現目的の理解と演奏の仕方（1）Chopin「Marche Funèbre」②表現目的の理解と演奏の仕方（2）Mozart「トルコ行進曲」③音楽の理解 Schubert「Der Wanderer」④ジェスチャーについて（アウフタクトについて）「O sole mio」をステージの上で各受講生の参考演奏がありました。ピアノ伴奏については東京より同行された清野香子先生を紹介されました。大学における指揮の授業や各講習会などのピアノ伴奏を努めているそうです。



昨年度の指揮法講習に使用したテキストを反省しながら「跳ね上げ」や「指揮法では、最低限何が出来ることが必要か」「現在私達が身につけるべき指揮法」「指揮法のまったくの基礎」など齋藤秀雄先生の指揮法教程について説明を織り交ぜながら的確な指導でした。そしてステージを降りて参加者一人一人へのアドバイスなど時間があつという間でした。特に休憩時間には各先生方も休む時間を忘れての質問や振り方の練習で汗だくでした。外は朝から激しい雨に見舞われていましたが会場内は、熱の入った実践的な活動が続いていました。



午後には⑤Tempoが速い曲Beethoven「ピアノ・ソナタ」⑥Tempoがのろい曲「Der Dichter spricht」⑦アクセントと拍子感「魔王」⑧基本の学習Schbert「Thema aus dem Impromptu」Op 142-3などの例を取り上げながら展開されました。

最後にはBrahmsの「Ungarischer Tanz No 6」を課題に全員の先生方が前に出てピアノに向かって指揮を披露し指導を受けました。さすがにピアノ伴奏者はそれぞれの先生方の指揮のとおりに演奏を変化させ、昨年に続きその演奏や指揮ぶりを聴講するだけでもたいへん勉強になりました。



紙谷先生から、一人一人の癖などの的確なアドバイスがありました。受講生のなかには、「恥をかく・・・」と言ってられないくらい積極的な活動や質問をぶつけ合っていました。大変有意義な一日となり、時間もかなり超過してしまい参加された先生方からは是非このような講習を1回だけでなく数回に増やしたり個人レッスンが組める方法など希望がありました。今後、日程等を考慮して事務局としても検討していきたいと思います。

平成19年度指揮法講習会アンケート（回答数10）

○ 今日の講習の内容は（○で囲んでください）

とても良かった8 良かった2 ふつう0 あまり良くなかった0 良くなかった0

具体的にご意見がありましたらお書き下さい。

- ・小学校で指導しているので、今日習った指揮法のレベルから異なるので、間を埋める指揮法もほしい。しかし、今日の先生は一流で、そちらの指揮についてはためになった。
- ・指揮の方法の基本から説明していただき、わかりやすかった。
- ・本格的に指揮法の講習を受けたのは初めてです。大変勉強になりました。今後に生かしていきたいと思います。
- ・自分の出来ていないところ、くせが見つけられたことが一番良かった。
- ・昨年教えていただいたことを再確認できてとても勉強になりました。
- ・新しい方法がわかり良かったです。

○ 会場について何かありましたらお書き下さい。

昼食場所について

○ 開催時期は

この時期が良い6 もっと早い方がよい0 もっと遅い方がよい2 記入なし2

具体的に希望の時期はありますか？（6月下旬）

○ 今後行ってほしい研修はありますか？

指揮法の継続2、合奏指導法2（モデルバンドを使って）

○ その他ご意見がございましたら、ご記入下さい。

- ・年2回やっていただければ、より良いかと思います。ドキドキしながらも楽しいレッスンでした。まだまだ教えていただきたいことが沢山です。
- ・昨年も参加しましたが、1年経過すると、また自分のクセなどが出てしまっていることに気づきました。基礎基本、自分を振り返ることの大切さがわかりました。一人一人見ていただいてとても勉強になりました。個別指導は恥ずかしいですが、とてもためになります。
- ・指揮は見よう見まねでやっているので、とても良かったです。
- ・受付開始時間を正確に教えていただきました。9:00 → 9:30でした。
- ・1年前にも受けましたが、忘れていることも多く、見直す機会になって良かったです。曲も違う曲だったので、勉強になりました。1年に1回は受けたい研修です。

— コンサートカレンダー —

姿川第一小学校吹奏楽部「ドリーム・コンサート 2007」

11月24日（土）午後1時半 開演

宇都宮市文化会館小ホール 入場無料

※ 案内掲載の依頼を受けておりましたが、大幅に広報誌の発行が送れ、間に合いませんでした。お詫び申し上げます。

緑が丘小学校吹奏楽部「メモリー・コンサート 2007」

12月23日（日）午後1時 開演

宇都宮市立緑が丘小学校体育館 入場無料

宇都宮ウインドクルー10周年記念コンサート～音楽万才～

平成20年4月29日（火・祝）午後2時 開演

宇都宮市文化会館大ホール

一般 800円 学生（高校生以下）500円 未就学児 無料

問い合わせ 080-2001-7016

訂 正

第30回吹奏楽リーダー講習会の日程が

平成20年2月10日（日）・11日（月・祝）に変更になりました。

お知らせ

「東関東・栃木県吹奏楽連盟賞の推薦について」の公文書を
「吹奏太郎」と一緒に同封しました。ご確認下さい。

編集後記

本連盟「吹奏太郎」は広報誌の性格上、吹奏楽連盟の行事等について速報という形で、年間4回を目安に出来るだけ早く周知するという使命を負っています。

しかしながら、この度は発行が大幅に遅れ、皆様に大変ご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

今年度は支部再編という栃木県吹奏楽連盟にとって歴史的に大きな出来事があり、その辺の記事を詳細に今後の展望も含めてお知らせしようということで、今年度の第一号の準備をして参りました。しかし、不確定要素も多く、結果的には曖昧なままの掲載は出来ないということになり、その結果として遅い発行になってしましましたことを反省しております。お詫び申し上げます。

いずれにせよ、今年度総会で理事長より方針が示され、決定した規約に添って益々本連盟が発展していくことを願ってやみません。

